

地方創生加速化交付金事業 検証シート 2016(H28) 記入要領

担当課	⑦
-----	---

No	① 事業名	② 事業内容	③ 交付金の種類	④ 実績額 単位:円	⑤ 本事業における重要業績評価指標(KPI)				⑥ 当該年度における取組評価		⑦ 外部有識者からの評価		⑧ 事業の方向性	
					指標	指標値 (2019)	前年度実績値 (2015)	実績値 (2016)	成果・課題	事業効果	事業の 評価	外部有識者からの意見	今後の 方針	今後の展開
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	
					指標①	⊕	⊖	⊖	⊖			⊖		
					指標②									
					指標③				⊕	⊕		⊖	⊖	
					指標④					⊖				
					指標⑤									

記入要領

⑦ 担当課名	事業担当課名
⑧ 事業番号	事業番号
⑨ 事業名	事業名
⑩ 事業内容	事業内容
⑪ 交付金の種類	地方創生交付金の種別を記載
⑫ 実績額	地方創生交付金の充当額を記載
⑬ 重要業績評価指標(KPI)	重要業績評価指標(KPI)を記載
⑭ 指標値(2019)	重要業績評価指標(KPI)の指標値を記載
⑮ 前年度実績値(2015)	重要業績評価指標 前年度2015(H27)の実績値を記載
⑯ 実績値(2016)	重要業績評価指標 当該年度2016(H28)の実績値を記載
⑰ 成果・課題	事業の成果・課題、事業効果に対する評価
⑱ 事業効果	重要業績評価指標(KPI)に対する評価(国様式そのまま) 【選択式】 ・地方創生に非常に効果的であった(目標値を上回った場合) ・地方創生に相当程度効果があった(目標値の7~8割達成した場合) ・地方創生に効果があった(目標値を上回ったことはなかったものの、事業開始前より改善した場合) ・地方創生に対して効果がなかった(実績値が事業開始前より悪化している場合)
⑲ 当該年度の進捗状況	担当課として、当該年度の事業計画に対する進捗状況を評価 【選択式】 ・A(予定を超えて実施できた) ・B(予定どおり実施できた) ・C(予定近く実施できた【80%程度】) ・D(予定には及ばなかった【50%程度】) ・E(実施には至らなかった)
⑳ 事業の評価	外部有識者からの重要業績評価指標(KPI)達成に対する評価 【選択式】 ・総合戦略のKPI達成に有効であった ・総合戦略のKPI達成に有効とは言えない
㉑ 外部有識者からの評価(全体評価)	外部有識者からの担当課自己評価に対する全体評価 【選択式】 ・適切な評価である ・概ね適切な評価である ・やや見直しが必要である ・見直しが必要である
㉒ 外部有識者からの評価(ポイント・事業の進め方等)	外部有識者からの評価のポイント・事業の進め方等に関する意見
㉓ 今後の方針	事業実績を踏まえた今後の方針(総合戦略の見直し等)(国様式そのまま) 【選択式】 ・事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる ・事業内容の見直し(改善)を行う ・特に見直しをせず事業を継続する ・継続的な事業実施を予定していたが中止した ・当初予定通り事業を終了した
㉔ 今後の展開	今後の方針の選択理由や、今後の事業展開

交付金申請書から事務局が転記

担当課で記載

外部推進委員会で検証

担当課で記載

地方創生加速化交付金事業 検証シート 2016(H28)

No	① 事業名	② 事業内容	③ 交付金の種類	④ 実績額 単位:円	⑤ 本事業における重要業績評価指標(KPI)				⑥ 当該年度における取組評価		⑦ 外部有識者からの評価		⑧ 事業の方向性	
					指標	指標値 (2019)	前年度実績値 (2015)	実績値 (2016)	成果・課題	事業効果	事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の展開
No.1	伊勢茶トータルプロモーション事業 【地方創生加速化交付金事業】	<p>三重のブランドである「伊勢茶」の産地度会町として、東京と伊勢志摩を「伊勢茶」でつなぎ、ブランド力の強化を図ります。</p> <p>東京都内のカフェ等と連携し、名入り急須と湯呑みの使用で、カフェでの緑茶愛飲(仮称:カフェリヨク)を推進。また伊勢志摩を訪れる方にも「伊勢茶」を楽しんでもらえるよう「カフェリヨク参加店」を募集し、町内はもとより伊勢志摩地域の活性化につながるような取組を進めます。</p> <p>また、新しい茶の飲み方提案など、既成的な緑茶に対し、様々な角度から新たな取組を進めます。</p> <p>◎伊勢茶ブランディング事業 ◎伊勢茶マーケット拡大事業</p>	加速化交付金	6,750,000	指標① 東京カフェ連携プロジェクト参加店数	30店	—	30店	<p>平成28年度から始まった伊勢茶トータルプロモーション事業では、東京でカフェや飲食店での伊勢茶の展開に東京カフェ連携プロジェクト参加店数が目標の30店舗を達成し、新たな取り組みとしてスイーツやアルコールドリンクなどの取り組みを手掛けました。東京で夏と冬に2回の生産者イベントを行い、急須でいれる本物の緑茶を味わっていただきました。</p>	<p>地方創生に効果があった</p> <p>当該年度の進捗状況</p> <p>B(予定どおり実施できた)</p>	<p>総合戦略のKPI達成に有効であった</p>	<p><全体評価> 適切な評価である</p> <p>当初計画通り30店舗での展開を単年度で達成されたことは大きな事業成果である。</p> <p>ブランドとして定着するには、地元からの発信力も重要であり、都市部の事業継続に併せ、地元展開も検討されたい。</p>	<p>事業の継続</p>	<p>伊勢茶のブランド強化については、一様の成果は果たしていると判断できるものの、当初計画の伊勢茶トータルプロモーション事業での伊勢志摩展開では、皇學館大学との連携のみで、主だった成果が見えていないことが課題となっていることから、伊勢志摩地域での展開にもあわせて力を傾注していきたい。</p>
指標② 品評会での入賞率	50%	34.38%	20%											
指標③														
指標④														
指標⑤														